

# 信太山丘陵市有地保全・活用意見交換会

## 提示された主な意見

<b>信太山丘陵市有地のあり方について</b>
希少種を守ることも重要だが、ふるさとの山づくりと捉え、誰もがいつでも景色を楽しみ、虫を取るなど親しめる場所であってほしい。
現在ゲートは施錠されているが、昔はなかった。公園化に際しては自由に利用し、楽しんでもらいたい。
<b>基本方針(たたき台)について</b>
専門家の関与について、コンセプトに含めて欲しい。例えば「環境応答を見ながら、自然の順応的管理に基づく息の長い取り組みにより、多様な生物の生息・生育空間を守る」について、「科学的な知見とデータに裏付けされた順応的管理・・・」という表現にしてはどうか。
コンセプトに関して、歴史・文化・人々とのかかわり、自然環境については触れているが、信太山丘陵そのものが、地質学的、自然史的にも遺産であるという視点が欠けているのではないか。
盗掘に対する規制として、立ち入り禁止や施錠など、希少種を保全するための取り組みも必要である。
コンセプトの「(1)シンボル・和泉らしさについて」の3段落目「これら史跡～考えられる。」について、「考えられる」ということは未確定ということであり、将来にわたって残る文書に入れるべきではないので、削除してはどうか。
<b>施設・位置・駐車場について</b>
校外学習で多くの人を訪れると思うので、スケジュール調整や電話対応する事務所が必要なのではないか。
事務所は入り口付近がいいのではないか。
駐車場は、当初から大きくする必要はなく、状況を見ながら広げていけばいいのではないか。できるだけ自然を残して欲しい。
管理棟はAがいいと思う。
トラスト協会の管理地に子どもを連れて行くことがあるが、トイレの問題がある。Aの場所にトイレがあると助かる。Dにもトイレがあると助かる。
<b>保全活動について</b>
活動に際しては、野生動植物は脆弱なので、素人でなく適切なアドバイスのできる人に参加してもらいたい
活動に際しては、若い世代など、家族ぐるみで協力いただけるような工夫が必要である。
木に名前をつけたり、鳥の巣箱を作るなど、創造的な活動により魅力作りしていく必要がある。

# 信太山丘陵市有地保全・活用意見交換会

## 提示された主な意見

保全活動について
公民協働に関し、小中高生、教育機関に参加してもらい、自分たちのまち、ふるさととして誇りに思えるような信太山丘陵になるとよいと思う。できる範囲で学校にも参画してもらいたい。
小中高生については、個人での参加に加え、教育機関として公民協働の活動に参加いただきたい。
遷移後退を目指す場合、やるべきことは多いので専門性を持つ人に限定するべきではなく、専門性を持ったリーダーの下で素人を含め、多くの人に参加してもらう必要がある。
公民協働の取り組みにより、ボランティアを募集する際に、具体的にどういったボランティアが必要なのかを示すべきである。
信太5号線について
信太5号線を毎日使っているが、上伯太線が開通してから、交通量が減り、利用しやすくなっている。山の谷住民の生活面からの必要性ならやむを得ない面もあるが、あまり拡幅するべきではないと思う。
その他
和泉市民全体の問題として認識されていないのではないかと。自然公園で市が動いていることを広報でも大きく取り上げてもらうなど、市民へのアピールをお願いします。
信太山丘陵の認知度を高めるために、信太山丘陵の自然を紹介するだけでなく歴史等も含めて、広報により信太山の情報を提供し、市民に伝える努力をすることで、市民の意識を高めることが必要である。
脆弱な湿地を保全するため、湿地の専門家や生態にかかわる専門家を入れたワークショップをつくるべきである。